



2018年度 相原地区 市政懇談会

次 第

[日時] 2018年11月12日 (月) 18:30～20:30

[場所] 堺市民センター ホール

司会進行： 市民協働推進担当部長 平林 隆彦
相原地区連合町内会 副会長 北島 卓美

○連合会長の挨拶

相原地区連合町内会 会長代行 横溝 文雄 (5分)

○市長の挨拶

町田市長 石阪 丈一 (5分)

○職員の紹介

(5分)

第1部 地域の要望に関する意見交換

(50分)

1 相原駅周辺の整備について

【道路部】

2 相原地域全体の雨水処理について

【防災安全部】 【下水道部】

第2部 市政全般に関する意見交換

市長からの市政報告

(50分)

○閉会の挨拶

閉会挨拶 相原地区連合町内会 副会長 松日樂 義隆

(5分)

2018年度 相原地区連合町内会 市政懇談会
議事録(要旨)

[日 時] 2018年11月12日 (月) 18:30～20:30

[場 所] 堺市民センター ホール

[出席者] 石阪市長

防災安全部長 篠崎

道路部長 福田

下水道部長 大場

政策経営部広報担当部長 若林

市民部市民協働推進担当部長 平林

市民部堺市民センター長 板橋

市民部市民協働推進課長 中坪

市民部市民協働推進課担当課長 (地域担当) 平野

市民部市民協働推進課(3名)

相原地区町内会長 ほか29名

司会進行：市民協働推進担当部長

相原地区連合町内会副会長

○地区連合会長の挨拶

皆様、改めましてこんばんは。今、司会からご紹介がございました相原地区連合町内会会長代行の〇〇と申します。また、石阪市長、職員の皆様、この場にご足労いただき、まことにありがとうございます。相原から庁舎に行くのも結構時間がかかるのですが、庁舎からこちらに来るのもすごく時間がかかって大変だと思います。本日は相原の意見交換ということで、相原がよくなるような形でできればいいと思います。また、せんだって、相原ふれあいフェスティバル2018に際しては、石阪市長には暑い中、また、お忙しい中フェスティバルにご足労いただいて盛大にできましたこと、この場をおかりして厚く御礼を申し上げたいと思います。ありがとうございました。

連合の各町会から、本日は3点要望がございます。また、相原まちづくり協議会の理事長の〇〇さんから1点ございます。連合町会としても一生懸命相原をよくし、相原まちづくり協議会の〇〇さんも、相原をよくするにはどうしたらいいのだろう、それには石阪市長のお力添えがないとできませんので、ひとつよろしくお願いしたいと思います。

それから、本日、境町会の町会長さんに要望を1つお願いしたいと思います。

これでは来年、石阪市長に来てもらえないと最初は心配しましたが、大分埋まってきました。本当はもう少し来ていただくとありがたいのですが、相原をよくしようと思っている皆さんも、そのために本日はひとつよろしくお願ひします。

○市長の挨拶（町田市長）

皆様、こんばんは。お忙しい時間にたくさんの方においでいただいたということで、私からも御礼申し上げたいと思います。本当にありがとうございます。

相原地区については、庁舎から遠いという話もありましたが、私どもは勝手にいつも遊びに来ておりまして、大地沢のあたりはあちこち足跡を残しております。センターの上へツツジがきれいなので、それを見に行っただけなのですが、転んでしまって、肩を折った記憶があります。実を言うと、私は日本野鳥の会に入っておりまして、町田市内では相原地域、大地沢のほうだけという鳥が結構いるのです。ほかではまず見たり聞いたりできない鳥がいるので、いつも楽しみに来ています。冬もそうですし、5月、6月も、見つかるはずいから実は1人でそうっと来ています。それだけ非常に豊かな自然があります。

そういう中で、ここはまた地域の結束が町田の中では一番強い地域であります。今、町内会の組織率は55%も行かないのですが、相原地域は非常に結束が強いという意味で、今年行いました〇ごと大作戦第1号がこちらです。逆に言うと、それだけみなさんがやろうと言ったらすぐ集まれる状況のところなのです。そういう意味で、私は、この地域における活動の一種お手本というふうはこの地域については思っております。

いろいろな問題をたくさん抱えています。今回出ている駅の近くの話とか川の話以外にもまだまだたくさんあるわけですが、お話を絞っていただいて今日のテーマは2つになっていますが、いろいろな課題を私どもとしても解決していきたいと思っております。どうぞよろしくお願ひいたします。

○出席者の紹介

第1部 地域の要望に関する意見交換

1. 相原駅周辺の整備について

(1)相原駅西口の公衆トイレの設置について

相原駅西口の整備が完了し、西口ロータリーを利用する市民は増加しています。しかしながら、依然として相原駅西口の駅前に公衆トイレがなく不便を強いられており、近隣のスーパーやコンビニのトイレを仕方なく利用して

いる事例も散見されます。また、相原駅西口を利用する障がい者や高齢者の方も数多くおり、バリアフリー化された障がい者対応トイレの需要も根強いものがあります。公衆トイレの設置を強く要望します。

(2)相原駅のエスカレーター拡張について

現在相原駅のエスカレーターは、東口・西口にそれぞれ1基ずつしかなく、時間で区切って上り・下りを入れ替えて運用している状況です。相原駅西口の整備が完了し、今後相原駅を利用する市民はますます増加することが見込まれますので、利便性向上のため、エスカレーターの拡張を要望します。

(3)相原駅西口ロータリーの一般送迎車用区画について

現在相原駅西口のロータリーにおいて、きちんと区画が明示されていないことにより、一般の車両が送迎のためタクシーやバス用の停車区画に進入している事態が発生しています。路面に「一般」などと白線で区画し、一般車両の運転者にわかりやすく停車場所を明示していただくよう要望します。

【回答】

道路部長

「相原駅周辺の整備について」お答えします。

(1)「相原駅西口の公衆トイレの設置について」ですが、相原駅西口におけるトイレの設置については多くの意見を伺っております。今後の相原駅周辺まちづくりの進捗を見据えながら、トイレの設置について調整してまいります。

(2)「相原駅のエスカレーター拡張について」ですが、相原駅の自由通路は2003年に完成し、東西に各1基のエスカレーターを設置しております。エスカレーターは時間帯により、上り・下りの切り替えを行っております。また、エレベーターも各1基を設置しております。

駅利用者の利便性向上のため、上下専用のエスカレーターをそれぞれ設置することが望ましいと認識はしております。

エスカレーターの拡張については、相原駅東西のまちづくりの方向性、進捗を見据えつつ、自由通路の改修時期に合わせて検討してまいります。

(3)「相原駅西口ロータリーの一般送迎車区画について」ですが、相原駅西口広場築造に当たっては、交通管理者である警視庁と協議を行い、タクシー乗り場及びバス乗降場の位置等を決定いたしました。

あわせて、一般車両用の乗降スペースの明示についても協議を行いました。警視庁としては、広場内は駐車禁止区域であり、その区域内に一般車両用の区画を設けると、禁止している駐車を誘発することとなるため、一般車両用の区画を明示することはできないとの見解でした。

今年度も警視庁と調整を行いました。引き続き一般車両用の区画の明示は認められないとのことでした。

2. 相原地域全体の雨水処理について

2018年6月末から7月上旬にかけて、西日本を中心に全国的に多大な被害をもたらした「西日本豪雨」は記憶に新しいですが、時間雨量100mmを超える激しい雨の降り方が、近年頻発してきています。相原地域においても2008年8月2日、大戸地域を中心に流れる境川などが増水し、豪雨災害や冠水被害が発生しましたが、今後さらに当時を超える状況が想定されます。

公共下水道の多くが時間雨量50mmに対応する計画と言われる中、今後の想定を超えるといわれる気候変動に対し、現状で対応できるのでしょうか。以下にお答えください。

(1) 境川や陽田川の排水能力と今後の下水道網の計画、さらには地下浸透も含め、相原地域全体の雨水処理能力及び被害想定について、町田市の現状認識を教えてください。

(2) 今後洪水ハザードマップについて見直す予定はありますか。

補足として、近年、ご承知のとおり、下水道網が大分整備され、雨水処理の経路に下水道を使うことも大分ふえてきている。ただ、いろいろ聞くところによると、東京都内においても、マンホールのふたが噴き出ているような状況が頻発している。一般的に下水道で言うと、時間雨量50mmが設定基準になっているところも多いと伺っているが、では、町田市はどうかという素朴な疑問がまず出てきたということが1点です。

それから、境川とともに陽田川と書いてあるのですが、聞くところによると、今年も陽田地域において、冠水とまで行かないにしてもかなり厳しい、切迫した状況があったと伺っています。そうすると、同じ川でも河川法ではなくて下水道ということで、市で管理する部署もおのずから違うと思います。ハザードマップで言えば、最終的におまとめになるのが防災安全部になると思います。そういった意味で、横の連携等は当然やっておられるだろうと思うのですが、町田市として今後、特に相原地域で過去に災害事例があったことを踏まえて、現状をどう認識しておられるのか、また、今後についてどうお考えかをぜひこの機会にお聞かせいただきたい。

【回答】

下水道部長

(1) の境川や陽田川の排水能力と今後の下水道網の計画、さらには地下浸透を含めた相原地域全体の雨水処理能力に関する町田市の現状認識についてお答えいたします。

境川の排水能力については、おおむね1時間当たり30mmの降雨に対応する能力を有していると聞いております。ただし、一部未整備箇所については30mm対応はできていない状況です。

なお、陽田川については、下水道計画では相原1号雨水幹線として、時間雨量50mmの降雨に対応するものに位置づけております。

町田市の公共下水道は、時間雨量50mmに対応する計画となっておりますが、雨水管整備事業は、相当の時間と費用を要することから、過去の浸水履歴に基づき、浸水被害の大きい箇所を選定し、雨水管整備を優先的に実施していくこととしています。相原地区におきましては、相原小学校周辺エリアを、2021年度から整備を行う予定としています。

また、境川が2014年6月に特定都市河川浸水被害対策法の指定流域となったことから、1000m³を超える開発を行う際には、浸透施設や調整池などを設置し、地下浸透や雨水を貯留することで、下水道や河川への雨水の流出を抑えています。

一方、河川については、近年の台風や前線による豪雨を鑑みると、早期に整備が行われることが望まれます。相原地区においても、神奈川県厚木土木事務所津久井治水センターにより、風間遊水地（貯留量約1万7000m³）の整備が始まっており、2021年度の完成を目指していると聞いております。

今年1月には、相模原市とともに、神奈川県庁に赴き、副知事に整備要請を行っております。また、5月には、境川の上流部を管理する神奈川県厚木土木事務所津久井治水センターに赴き、要請活動を行ってまいりました。

今後も、引き続き、河川管理者に対し、町田市民が安心して生活できるよう河川整備の要請を行ってまいります。

防災安全部長

(1)の「被害想定について」及び(2)「今後洪水ハザードマップについて見直す予定はありますか。」についてあわせてお答えいたします。

町田市洪水ハザードマップは、東京都が公表した浸水予想区域をもとに作成しております。現在の東京都の浸水予想区域は2000年9月に発生した東海豪雨と同規模の豪雨があった場合を想定しており、時間最大雨量は114mm、総雨量589mmとなっております。

2018年6月には、東京都から境川の新しい浸水予測区域図が町田市に通知されました。これは、想定し得る最大規模の降雨によるものとして、時間最大雨量は170mm、想定総雨量が797mmとなっております。

この雨量での相原地区の被害想定ですが、境川と一部の支流沿いなどに浸水区域が生じます。想定降雨量の数値は大きくなりましたが、相原地区の新たな浸水予想区域範囲は大幅に縮小されています。

町田市では、今後、東京都からデータの提供を受け、2019年度、速やかに新たな洪水ハザードマップを作成し市民の皆様にお知らせする予定です。

《質疑》

大戸町会

大戸町会長の〇〇です。

相原駅周辺整備で、公衆トイレのことにに関して幾つかお聞きしたいと思います。まず、公衆トイレを設置するには費用が相当かかると思うのです。一般的にどのぐらい費用がかかるものなのか、わかれば教えていただきたい。それから、設置した後の維持管理費用がさらにかかると思うのですけれども、どのぐらい必要なのかということがもしわかれば、わからなかったら結構です。

それから、市内にある町田市が設置している公衆トイレの数は現在何カ所ぐらいあるのかがわかれば教えていただきたいです。

道路部長

まず、公衆トイレにかかる費用ですけれども、私の記憶の範囲で1カ所をつくるのに約3000万円です。男女とみんなのトイレ、一般的なトイレはそのぐらいかかります。維持管理はどのぐらいかかるかはわかりませんが、清掃業者に頼みまして、毎日朝あけまして、清掃して、あとは帰るときに閉めるといった作業を委託業者が行うことを考えています。

次に、公衆トイレの数です。駅についているトイレですが、これも私の記憶の中ですが、まず、町田駅がございまして、JR町田駅の近くとJRの成瀬駅がございまして、もう1つは、駅前ではないですが、尾根緑道に公衆トイレがあります。この3カ所を道路部で管理しています。

相原まちづくり協議会

先ほどの駅構内の自家用車の件です。駅前広場を算定するとき、昔の建設省の48年方式という計算式の中に必ず歩道の面積、バスの面積、自家用車、タクシーと4つに分けて計算して算定をしているはずですが、ですから、計画の段階でもし自家用車のスペースがあれば警察と協議が十分できるのではないかと思います。警察はあくまでも交通の流れしか見ません。道路計画というのは、本来我々が生活に使う道路交通の話です。それがごっちゃになってしまって、警察は交通の流れしか見ません。そういう意味では、相原とか地方都市の車で来ておりて、すぐ車で入るパターンが多いと思うのですけれども、できればもう1度、駅前広場そのものの計算の根拠をしっかりと見ていただいて、その上で警察と協議していただければ、よりいけるかなど。これは国土交通省の資料に載っていますので、48年方式という一般的にコンサルが駅前広場を計算するときを使う形式です。それを見ていただいて、警察と、駅前広場そのものの算定の根拠としてあるということで再度対応してもらえばいいかと考えています。その辺の計算の根拠をもう1度しっかりと見ていただければと思っています。

道路部長

48年方式は勉強させていただきたいと思います。相原の駅前広場の計画段階での話ですが、町田市と相原のみちまち推進会議で大きさを決めているのです。もともとは大きな区画があったので、その中で歩道をどのぐらいのスペースでつくるか、施設のロータリーをどのぐらいつくるか、みちまち会議の中で決めた経過がございます。その中で、今、北側のコンビニがあるところはかなり歩道が広いと思うのです。あれはみちまち会議で要望をもとにあの大きさになったということになっております。細かい48年ルールについては、また勉強してみて、その計算があれば調べてみたいと思います。

相原まちづくり協議会

補足ですけれども、駅前の道路は都市計画決定しています。必ず建設省と事前の打ち合わせをしたはずです。そのときに都市計画決定の根拠として先ほど私が言いました48年方式という現国交省の指導で面積の算定等をしてははずです。ですから、そういう意味では、過去の資料を見ていただいて、48年方式でどうやって計算したのか、そのときに自動車の需要を含めてやっていると思いますので、それを踏まえて警察には実は計画段階でこれだけやったという話の流れに持っていくと、より我々市民の意見が通りやすくなるのではないかと。単純に車が欲しいから頂戴ではなくて、計画の段階で既にそういうことまで考えているという話で持っていくといいのかと思っています。

道路部長

48年方式をまず勉強させていただいて、都市計画決定するときの交通量等が当然載っていると思いますので、その辺を勉強させていただいて、調査してみます。

町田市長

これも根拠がなく、どうなっているかよくわかっていないのですが、鶴川駅の東側は全くスペースがなく、今度の計画では乗り降りの場所をつくることになっています。現況、西側、つまり大蔵側にも駅前広場があるので、ここについても駅前広場にお客さんが来るまで待っているタクシーのたまりをつくって、区画線で6台かが入れるようになっているのです。

自家用車は全く区画線も何も引いていなくて、どうしているかということ、ひどいときはタクシーのところでとまっています。見ていると、朝は降りてもらえばいいわけですが、帰りに待っている人はそこで待ってしまう。何台もあそこで待っていて、タクシーが困っているのですが、あまりやるとけん

かになるからタクシーの運転手さんは言っていないのです。実は結構タクシーも苦勞して、自家用車で小田急線が停車して来るのを迎えが待っています。晴れている日はいいですが、冬の雨の日はそんなところにいるなというのはなかなかできなくて、結局、実態上は駅のところにとめてしまって待っているのです。駐車禁止ですから、もちろん運転手は乗っているのですが、それが実は結構問題になっています。こらちも冬は寒いですから、雨が降ったら、送りはいいですが、待つほうが結構大変かと思っていて、小田急線鶴川駅西口よりスペース的にももう少し狭いと思うのです。鶴川も自家用車の区画線は書かせてもらえなかったです。事実上、占領しているという状態です。ですから、現状としては多分鶴川の駅と同じ扱いをこちらもしているのかなと思っています。

(司会) 地区連合副会長

この件については、後日、何らかの形で情報を流していただけますか。よろしく願いいたします。

相原中村町内会

今の西口の送迎について、西口をつくるに当たって、私が記憶している範囲内では、とにかくバスをこちらに入れてほしいと。自家用車は関係なかったのです。もうお亡くなりになりました寺田前市長が企画部長のときに、相原駅周辺の再開発をやるといったときに、近隣の住民が机に着いてもらえなかったという話を伺ったのです。それで鶴川駅にということで話をしたら、鶴川では、明日にでも執行してくださいという話で鶴川をやったら、もう市ではお金がないから相原はやめたという話を伺ったことがあるのです。

50年以上も前から相原駅をやると言っておいたのに、それでは困る、とにかくバスを入れる場所だけでもつくってくださいと言われて、とにかくバスだけでも入れるように何とかしましょうということで始めたものだから、駅前広場ではなくて道路を含めた交通ということでやると伺ったのです。タクシーとバスをとめましょう、乗降場所も含めましょうということで工事が始まったと私は伺ったのです。

完成したら、現在、さっき市長がおっしゃっていたように、西口も雨の日はすごいです。マイカーのお迎えでバスの待機場所がいっぱいになってしまっている。バスはブーブー鳴らしている状態です。昼間はタクシーのところにマイカーをとめて、鍵をかけてどこかに行ってしまうのです。だから、駐車してしまっているのです。バスの待機所もそうです。今度、送迎用のものをつくったら、そこへとめてしまえと待機場所ではなくなってしまうかもしれないです。現在でさえとめてどこかへ行ってしまって、何時間も戻ってこない人がいるわけです。乗降場所、待機場所をつくってくれとおっし

やられるのはいいですが、不法駐車、駐車場になってしまう可能性も私は持っているのです。そういう点を考えていただけたらと思ってこの質問を上げました。

道路部長

その点をまさに警察が心配していることです。そういう区画をつくってしまうと、そこが駐車場だと思ってしまう。要は誘発してしまうのではないかというのが警視庁の一貫した主張です。ですので、確かに形的には今のところ場所はないですが、南大沢かどこかには一般と書いてあるところがあるようですが、南大沢警察署はそれを消すという方向に動いています。流れとしては、駅前広場についてはそういうことでやっていくというのが今警視庁で考えていることのようにございます。

相原まちづくり協議会

私は相原まちづくり協議会の理事をやっています〇〇と申します。

2つありまして、道路部長さんがいらっしゃるので大変言いやすいのですが、1つは相原駅西口側が立派になりました。ありがとうございます。それから、今、東口の道路をよりよくしようということで、測量が始まっているのを私も目にしております。申し上げたいのは、2010年のころから、相原駅の西口と東口に階段ではなく線路の下を通るアンダーパスをぜひつくっていただきたい。両方の場所がみんな町田市土地ですから、我々個人の土地ではないから、すぐできそうな気がしているのです。しかし、JR絡みもありますし、線路の下に道路をつくるのはそんなに簡単なお金ではできないということで、我々のまちづくり協議会のテーマのナンバーツーにもなっておりまして、ぜひ東口の道路を拡張するときに、将来を見越して道路づくりを考えていただければありがたいということが1つです。

もう1つは、直近の話ですが、2020年にオリンピックがあって、そのオリンピックの自転車レースに町田街道を走ることが発表になっております。府中のほうから尾根幹線を自転車走ってきて、そして町田街道の馬場におりてきて、そこから町田街道を走ってきて、16号のバイパスのところから相模原市に入って、相模原市の道路を走って山中湖へ向かうルートになっているようです。何を申し上げたいかというと、町田街道の自転車が走るところが強烈に狭いのです。我々のまちづくりのテーマのナンバーワンになっていますのが都道を拡張していただきたい。それは自転車レースのみならず、大戸踏切のほうまで近々まちづくりの理事長を含め、連合会長も都庁にお邪魔して要請するということです。それはさておき、都道ですから、町田市の道路ではないから関係ないとおっしゃらないで、バックアップを東京都にしてください、早い話があの道路を拡張することをぜひお願いしたいと思

質問させていただきました。

道路部長

まず、相原駅の地下道の関係です。確かにこういう話があることを私も知っております。今、大戸踏切をこれから立体化するというので、大戸踏切を地下に通すところでそこに車道と歩道両方できますので、そちらで地下道にかわるもの、ただ、当然言われているのは駅に近いほうでということだと思っております。とりあえず、回答としては大戸踏切の立体のほうをご利用いただきたいということでお答えをしているのではないかと思います。ただ、ご要望があるということについては、再度職場に持ち帰って話をしたいと思っております。

自転車レースのことですが、多分ニュータウン通りだと思います。ニュータウン通りで、多摩境からおりてきて右に町田街道を曲がってくる形です。確かに町田街道も、あの辺は広いですが、三ツ目のほうで1回狭くなります。また、相原に来まして、国道16号を超えてからまた狭くなる状況だと思っております。町田街道につきましては、東京都が去年発表した第四次事業化計画で、東京都内で2025年までに着工を目指す路線が何本か決まったわけです。町田市内においては町田街道ですが、今決められているのは常盤付近です。小山の馬場の交差点から常盤の交差点を過ぎて、その先に常盤の駐在所北という交差点があるのです。桜美林の旧道と桜美林の裏を通る新道がYの字になると思うのですが、そこまでの区間が全部で1400mあるのです。そのところが町田街道において第四次事業化計画にのった路線になります。

それ以外にも、例えば鎌倉街道も入っているのですが、とりあえずはあそこが入っているということで、大戸踏切についてはもう事業化されていますからいいのですけれども、それ以外では今回の第四次事業化計画には入っていないところはないかと思います。ですから、次の計画をつくるためのために東京都に要望されて、例えば三ツ目であるとか相原、要は大戸立体ができてその先が狭いところがございますから、そういう要望をされるのは非常に重要なことかと思っておりますので、やっていただきたいと思っております。

相原まちづくり協議会

これは報告なので、返事は結構です。先ほど〇〇さんから話が出ましたけれども、町田市の都市づくり部にいろいろ協力いただきまして、今月の29日月曜日に東京都知事に対して要望書を出します。都庁第一庁舎で長谷川明副知事に直接お話しすることで、9時半から、連合町会長代行と〇〇氏、まちづくり協議会で2名ずつ、それから都議会議員の地域に非常にご尽力いただいている方々3名と市会議員の方3名、計10名で要望してきます。今、道路部長が言われたように、第四次はもう決まっている。第五次についてはまだ

これからですが、今から手を挙げておかないと、我々の次の世代の子どもたちに対して責任がありますので、今のうち言っておかないといけない。特にきらぼし銀行から西のところについては都市計画決定すらしていない状況で、そういった意味で将来的なことを見据えて、多面的に声を上げていこうと予定しております。報告です。

(司会) 地区連合会副会長

2番目の相原地域全体の雨水処理について、何か要望、意見はございますか。

丸山町会

連合町内会会長代行の〇〇と申します。

境川は1級河川にはならないですか。そうすれば、国の補助が得られるのですね。

下水道部長

この質問は、この後やる市の連合会でたしか出ていると思うのです。そこで、今なかなか境川が進まないのは、例えば用地買収が一番ネックになっているということです。あと、下流に行きますと、相鉄線の橋の部分がネックになっている。あとは藤沢のほうでもやはり市街地で狭くなっているところがあって、神奈川県が言うには、用地買収がということを非常に言っているわけです。そうなりますと、1級にして国の方がやるにしても、地元の交渉等がございますので、なかなか難しいのではないかと思います。ただ、国がやると予算的なものもあるのかと思いますが、なかなか難しいというのは聞いているところでございます。

相原まちづくり協議会

お礼を兼ねて申し上げたいと思うのですが、私どもの質問に対して、下水道部長、それから防災安全部長、非常に丁寧にお答えいただき、どうもありがとうございました。

冒頭に議事録を作成するとか、ホームページに開示するというお話は聞いています。そういった意味では、ここだけで終わるということではないという認識はあるのですが、実際にそれをどのぐらいの方が見るかとなると、例えばこの議事録は堺市民センターでも公開していますので、見る事ができる。1つ提案ですが、我々は相原まちづくり協議会で広報紙を年に三、四回出しています。「あいとぴあ」という名称ですが、全戸配布です。最近、割とよく見えていますという人が増えてきたので、そういった意味で情報を伝える1つの媒体としてはお役に立てるのではないかと思います。

過去にも駅前でのいろいろな計画について町田市の方に書いていただいて、分析という形で公開したことがあるのです。我々は勝手にメモをとっていたのですが、途中で間に合わなくてやめてしまったのです。例えば境川の想定雨量は30mmだという話を聞いて、そうなのかと。相変わらず下水道に関してはほかと同じように50mmだという事実1つをとってみても、皆さんは関心を持っているのです。特に最近、あちこちで非常に水害が多い。そういった意味では、この議事録ができて公開した後で担当の課の方でも結構ですが、先ほどお話しされたことをぜひ執筆いただいて、広く発信していけたらと。それから、ハザードマップが2019年にも改訂するというのもまさに大事な話で、できれば写真や絵でビジュアルに表現できるとよりいいかと思っておりますので、もし可能であれば、時期を捉えてまたお願いかと思っておりますが、そういうことはできますか。

下水道部長

どうもありがとうございます。この辺はこちらもPRしていきたいと思っているところで、ありがたい話でございます。私どもも、年に1回ですが、下水道通信というのを出しております。そこでも下水道の利用方法だとか役割を随分PRしていただいておりますし、今年はカラーのマンホールぶた等もやろうとしていますので、その辺のPRを兼ねてぜひやっていきたいと思っています。

防災安全部長

ご提案いただき、ありがとうございます。

国内で浸水被害が発生するたびに、地域の方がハザードマップをご覧になっていたか、認識をしていたかという報道がよくございます。我々も知っていただく必要があると考えておりますので、ぜひよろしくお願ひしたいと思います。

(司会) 市民協働推進担当部長

ホームページにはアクセスできない方も多いため、ぜひいろいろな媒体を通じてPRをお願いしたいと思います。

第2部 市政全般に関する意見交換

市長からの市政報告

それでは、第2部ということで報告をさせていただきます。その前に、今やりとりをしたことでコメントしたいと思います。

まず、自転車のお話が出ましたので自転車の話をしますと、自転車競技は狭くて急坂で転びそうなところがいいということです。一番よく理解されるのは、旧小倉橋は皆さん行ったことがあるかと思いますが、あそこをおりていくと、ヘアピンで曲がるのです。急坂のヘアピンバックというほうがいいのだそうです。この間、相模原市の加山市長に新小倉橋のほうに見るところをつくって、あそこのヘアピンで転ぶのを見たいと言いましたら、本当にすごい勢いで突っ込んで行って、それで曲がれるかどうか勝負だというところが好まれているそうです。ですから、我々の常識とはちょっと違う、なるべく危険なところ、きついところをどうも選んでいるようです。道志みちもものすごく狭いところがたくさんあるのです。あそこを抜けていくということはやりたいようなのです。よくわからないですけども、どうも自転車の人たちというのは私たちには理解できないような考え方のようであります、国際何とか連盟がそういうことを言っているのだそうです。

実際はJ A堺のところまで突っ込んできて国道16号のバイパスを南の方へ行くのですけれども、そういうコースをとって行くそうです。町田市内はそんなに競技時間、観戦時間がないのです。ほとんどだんご状態で突っ込んで行って、あっという間に通り過ぎておしまい、勝負は道志みちの坂みたいです。あそこでどれだけ引き離せるか、それまでみんなで固まっていくような感じなので、応援しようと思ったらもう通り過ぎていた、注意しないと過ぎてしまうレースのようであります。大変長いレースなので、スタートは武蔵野の森公園ですけども、途中までは競争ではなくて、そのままずっと走って行って、多摩川を渡ってからレースのスタートになるらしいのです。ですから、そこまではだんごで、序盤戦はだんご状態なので、通り過ぎる、先頭が行ったらすぐ尻尾が行ってしまうレースになるのではないかとされておりま

もう1つは道路の話です。結局、きらぼし銀行の向こう側は計画がないのです。そこが一番大きな問題だと思うのです。まずは都市計画決定しなければいけないと思っています。私も前に、段木入沢を山からおりてきて、境川の水源を確認して、そこから走り出してずっと来たのですけれども、結局、相原小学校の前はとても走りにくかったです。しかも狭くて、道路側におりると危なそうなのです。走っている本人がいけないわけで、向こうから歩いてきた人に何の罪もないので、おりるわけです。でも、後ろから車が来るくらいに狭くてすれ違えないです。ですから、とにかくあの危険性を除去しなければいけないというのは自分が走ってみてよくわかりました。そこが一番ネックかと思っています。事業は順番にやっているのではしょうがないのかもしれませんが、危険性は順番で来ませんので、早くやらなければいけないと思っています。

それから、結局、川は少なくとも下からやらないとどうしようもないので

す。実は町田市が一番南に鶴間小学校という小学校がありまして、鶴間小学校の先で境川が狭くなります。神奈川県に入ったところで、堤防が川の真ん中のほうに出てくるのです。どうなっているかということ、あそこであふれさせようとしているのです。前に鶴間小学校のあたりは浸水しています。もともと川の考え方は、上流の方には言いにくいのですけれども、上流であふれてもらいましょう、そうやって下流を助けましょうという思想です。完全にそうです。下のほうを先にやらない限りは、上のほうは広げさせないのです。現に鶴間小学校であふれています。後から本川にはいろいろな川が合流しています。瀬谷に行けば、相沢川だとか泉田川がどんどん入ってくるから、前のほうであふれてもらわないと下のほうの被害が大きくなる。ですから、下のほうの被害を小さくするためには上流であふれてもらうという思想が河川管理の中にあるのです。怖いことですが、したがって、鶴間小学校であふれることになっているのです。

もっと上流のほうでは、結局、神奈川県は軽視しているのです。そうでないと、今は50mmが常識なのに30mmもできていないところがあるということは、そんな感じで考えているのです。現実はどうなるかということ、市役所から上の木曽のあたりはずっと50mmの河道が開削でできているのです。そこへ土砂を積んで30mmにしてあって、30mm以上になったらあふれるようになっているのです。50mmでつくっておいて、土砂を20mm分入れて30mm以上流れないようにしよう。30mmを超えたら市役所のあたりであふれてもらうとわざとつくってあるのです。つまり、それは下流を守るために土砂を積んであるのです。東京都が既に事業が終わっていて、50mmでできているのだけれども、30mmの流下能力しか認めていないというのが現状です。

これがいつになるかわからないというのは、何回言ってもお金がないのでという答えです。私どもも予算がありませんと職員が答えるからあまり文句は言えないのですけれども、神奈川県は予算がありませんのでと答えてずっとその状態で、事業計画の年次計画を出してこないのです。30年以内にやりますという答えしか返ってこないで、現状、境川はそんな感じであります。余計なことを言いましたが、実情としてはそんなことになっております。

それでは、幾つか報告を申し上げます。

資料が配られていますので、まず一番上の小さいものから説明します。2017年、平成29年度決算に基づく資料をお配りしております。タイトルが『平成29年度（2017年度）町田市課別・事業別行政評価シートダイジェスト』というものです。おかげさまで表紙にありますとおり、皆様のご寄附、ふるさと納税で大型映像装置ができましたので、それを表紙にしてあります。めくっていただきまして、こんなことをやっています、こんな分析をしていますということで3つぐらい例を言います。

まず、4ページ、5ページの1の「学童保育事業」です。2017年の学童保

育クラブの入会の人数は、2の「事業の成果」で3752人と書いてあります。今、これだけの小学生が学童保育クラブに行っているということです。どれだけかかるかが5ページが一番下、縄跳びしている絵の左下、入会児童1人当たりコスト、費用ですが、1人当たり36万円かかります。12で割ると1カ月3万円かかります。誰がどう負担しているかということですが、もちろん皆さんが負担しているのですが、国税、都税を納めていただいている分から3分の1くらい、市税を納めていただいている皆さんの税金から半分くらい、残り6分の1がお父さん、お母さんが負担していただいているということです。もう少しわかりやすく言うと、月間3万円ですので、6分の1というのは平均月額5000円で今学童を預かっています。残りの2万5000円が税金という計算になっているということでもあります。

同じように8ページ、9ページを見ていただきますと、今度は保育園が出てきます。民間の保育園がたくさんあります。8ページにありますとおり、6117名が去年の段階の入所児童の数です。例年100人、200人増えていくのですが、9ページの下の方を見ていただきますと、円グラフと四角い枠がありまして、保育園のほうは1人当たり桁が1つ上がりまして、約184万円かかります。12で割ると15万円ということになります。15万円というのはどうやっているかということ、厚生労働省と東京都の負担金が半分です。残りの3分の2が町田市税です。3分の1部分、つまり全体の7分の1くらいがお父さん、お母さんの負担する分です。24.7万円ですから、月額で2万円になります。下のほうに書いてありますが、月額15万円のうちの2万円が保護者負担、残りの13万円が税金という形で保育園はやっているということです。

細くなるのですが、3歳から5歳の実際のコストは100万円かからないくらいなのですが、逆に言うと、ゼロ歳は300万円くらいかかるのです。ここから町田市の現状を見ますと、実は今年の4月で146人が待機児童です。229人から146人まで大幅に減ったのですが、ゼロ、1、2歳が143人です。待機児童の原因は、ゼロ、1、2歳です。今年、ゼロ、1、2歳の19人定員の新しい保育所を10カ所つくっています。それだけで190人で、もちろん待機児童の数を大幅に超えているのですが、そのほかにも普通の保育園の拡張をしていますので、200人以上のゼロ、1、2歳の枠をつくっています。ですから、私の希望的観測ですが、来年4月は待機児童ゼロになるでしょうと言っています。4年前の選挙のときも待機児童ゼロと言ったのですけれども、全然なっていないので、あまり信用されていないかもしれませんが、オオカミ少年のようにもう1回、来年の4月はゼロになると言っておきたいと思います。

実はその話もまだあって、来年の10月に消費税が8%から10%になり、要するに国税の税収は増えます。この中で幼児教育の無償化という話があって、そちらへ増収分が振り分けられるという話があります。保育園についても、今、保育も教育も一緒になっていますから、保育園についても無償化が広が

ります。3歳は丸々無償ですが、ゼロ、1、2歳も低所得者、実際は市民税の非課税世帯は無償になります。これはまだ現状の認可と認証だけではないのですが、現在、非課税の方は、市がお金を出していない無認可についても無償で入れるようになります。どうなるかという、さっき私が言いました、来年の4月にゼロ、1、2歳の待機児童がゼロになったとしても、10月になると新しい需要がまた発生しますので、瞬間風速的にゼロで、また待機児童が増えるという心配をしています。あいつはうそをついたと言われぬように先に言っておきますけれども、新しい制度でまた広がります。これは大変ですけれども、無償化によって需要が増えることになります。

もう1つ、こちらは直接市民とは関係ないのですが、無償化の補助を自治体も負担しろというようなことを言っているのです。自治体の側が今反発してしまっていて、どうなっているのだとやっていますが、今もう予算を編成している最中なので、とんでもないことを言っている最中に来年度予算をもう編成しなければいけない。でも、国からは何にも来ていません。来たときにはもう遅い、補正予算になるのかと思います。もっと言えば、それぞれの園に出す保育の委託料の計算が園ごとに全部違うのです。保護者の関係だとか制度の関係が全部違うので、今、コンピューターシステムを使っているのです。

ですから、新しい制度になってシステムをつくらなければいけないのですが、情報システム課は中身を決めて持ってきてくださいと言って全然受け付けません。中身を決めてくれないのはうちの保育・幼稚園課ではなくて、厚生労働省で決めてくれないのでどうにも動けないという現状で、はっきり言って混乱は必至みたいな状態になっています。本当は今ごろ全部制度の中身を教えてくれなければどうにもならないのですけれども、システムの開発が1カ月でできるわけではないので、テストも含め半年以上かかるわけですから、作業にもかかれぬ状態なので、実際にどうなるのか、それこそ日夜心配しています。私が日夜心配すると寝られなくなってしまいうから、保育・幼稚園課長が日夜心配している。私は心配しないようにしていますが、結構大変なことになる。消費税の引き上げによる税収増で教育の無償化についてまではいいのです。それは別に反対する人はいないのですけれども、ちゃんとわかるようにしてくれということには言っています。

ついでの話をしてしまいましたが、最後に、どういう計算式か、もう一例挙げて見ていただき、後で見るときに参考にさせていただければと思います。31ページを見ていただきたいと思います。この中でアパート経営をされている方もいらっしゃるかと思います。アパート経営というのは、貸し家、賃貸住宅事業です。都営住宅、市営住宅も同じです。この構造は市営住宅の例で出ておりますが、31ページの左の下の市営住宅の住宅1戸あたりコストを見ていただきますと、1年間に74万円かかります。1年間のコストが74万円、月額で言うと6万円かかっています。幾ら家賃でいただいているかという、

46%、つまり3万円いただいているのです。残りの3万円は、このグラフで見ると市税、町田市の税金で全体の6万円のうちの3万円を払っているということです。

よく考えてみると、アパート経営とか賃貸住宅経営は、この家賃収入、青い部分がぐるっと回って1周、12時の位置を超えないと経営にならないです。これは満室です。ですから、もし空き室があったらもっとひどいことになるわけで、これはどうなっているかという、もっと言えば、月間6万円かかるのであれば家賃は7万円か8万円ないと経営にならない、貸し家はやれないのですけれども、実際は半分の3万円ということになります。ですから、現在の市営住宅、都営住宅は所得制限がありますので、たくさん家賃を設定することはもちろんできないのです。ですから、こうなっているということで、それを説明したのですが、実は4に行政コスト計算書と書いてあるのです。どれだけのコストがかかるかという、4つありまして、人にかかるコスト、業務にかかるコスト、給付にかかるコスト、次に減価償却費がかかります。これが44%です。さっき1カ月当たり6万円かかると言ったのですが、この中の2万7、8千円は減価償却費、建物をつくって減価償却しています。50年なら50年で、設備で言えば15年なら15年で減価償却していますので、そのコストを入れ込むと年間74万円、月額6万円となるのです。先ほどの賃貸住宅経営も、減価償却のコストを含んでいないと、その建物が終わった途端に事業が破綻してしまいますので、減価償却費はコストの中に入っている。

つまり、今お示したこれ全体は、企業会計の方式でコストを計算しているということです。企業会計の方式でコスト計算をしている市役所というのは日本で幾つもないのです。東京で言えば町田市と江戸川区など、あとは大阪市など、幾つかしかありませんが、企業会計方式でやっているのは、企業を営む人、あるいはサラリーマンの人はこちらのほうが減価償却のコストがわかるので、そちらに合わせてあるということです。逆に言うと、コストの中に減価償却費が入っていないと、どういうことなのだと質問されてしまうので、そういう意味では日本の自治体ではあまりやっていないのですけれども、企業会計の方式でコスト計算を、どのページもそういうやり方で行ってありますので、後ほど見るときに、減価償却費がどれぐらいかかっているのかも見ていただければ、コストの内訳なのですが、ありがたいと思っています。

次に、ピンクのチラシの裏側に「広報まちだ」の主な配布拠点というのが出ております。堺市民センター、こうさぎ保育園、子どもセンターぱお、ぱお分館WAAAOに置いてあるのと、鉄道はもちろんJRの駅だとか、農協さんにも置いてあります。コンビニはファミリーマートに置いてあります。契約を受けていただいたのはファミリーマートだけなので、ファミリーマー

トでは広報があります。新聞をとっていない方が最近3割ぐらい、つまり、とっている人が7割ということです。ですから、最近、新聞をとっていて広報が配布されているという前提で話はしていません。新聞をとっておられなくて広報が毎月届かないケースもありますので、そのときはここをご案内いただければと思っています。このページの最後の一番下の行に防災行政無線のフリーダイヤルの番号が出ています。こちらはもうご案内だと思いますが、無料で放送の内容が聞けるようになっていますので、ここへかけていただければと思います。

広報といえば、今日は12日、15日に広報が出ますので、宣伝です。私のいつも書いているカワセミ通信を今度も書いています。今度は15日になればわかる話ですが、ユニセフという子どもの権利を守る国連の機関があります。この間、ジュネーブのヨーロッパの代表機関の副局長さんが町田市役所に来て、子どもセンターだとか冒険遊び場は行かなくてパスしたのかな、幾つか見ていただきました。これは本気で言っているのかどうかわかりませんが、来年、ドイツのケルンで子どもの権利条約の行動をしている自治体の集まりがあるので、そこに石阪さん、来てくださいと言われていまして、どうしようかと今迷っているのですけれども、この間は全国の5つの自治体が東京のユニセフ本部、日本支部に呼ばれ、子どもの権利についてどういうふうにその自治体が行っているかということで、北海道のニセコ町、この間、地震でひどい被害があった安平町、仙台の近くの富谷市と町田市と奈良市の5つの市長と町長が来て、パネルディスカッションをやりました。その話を「広報まちだ」に載せています。ドイツに行くと書いてありますけれども、町田市の子どもの施策については、そこそこユニセフでも認めていただいていると思っています。どうせ15日になればわかる話ですが、先に言っておきます。

それから、〇ごと大作戦の市内第1号の事業は相原でしたので、ここで一生懸命宣伝しなくてもいいかと思っています。ありがとうございます。

ふるさと納税の話ですが、ふるさと納税につきましては、新しいパンフレットになりました。11月、12月にご寄附をいただくケースが多いので、1月になると翌々年の控除になってしまうので12月までというのが多いのですが、この中で新しいものとして、真ん中の13、14ページに新しいスタジアムの増設計画にご寄附をお願いしますというのを出してあります。手前は今まで一緒ですが、奥のほうにある小さい屋根がついたところが増築する部分であります。この寄附をお願いしますというのが新しい使い道として出してあります。

もう1枚めくっていただきまして、15、16ページです。15ページは市外の皆さんにご案内をしている、町田市に実家がある方で、実家のお父さん、お母さんに戻って見なくても、寄附をいただければ私どもで見守りをさせていただきますとか、今、家があいているけれども、どうなっているか知りたい

ということのサービスをしています。それが15ページです。

それから、16ページも政策に対してご支援くださいということで宅食です。悩みを抱えた子育て世帯がいますと書いてありますが、町田市内には7カ所の子ども食堂があるものの、そのような方の参加はまだ多くありません。子育て世帯に町田市の社会福祉協議会の職員がお邪魔をしてお話を聞きますということで、ただ行くわけではなくて、親子のお弁当を持っていきます。そこで、何かあったら話をしてくださいというサービスがあります。そのために皆さん、寄附をしてくださいという案内で、「おうちでごはん」というタイトルにしているのはそういう意味です。ただ届けるだけではなくて、相談相手になります。本音から言うと、相談相手をやりますよと行ってただ押しかけていくのもなかなか難しいので、お弁当を届けます、届けたついでに話を聞かせてくださいという考え方で実施します。

幾つかまだほかにもたくさんあるのですが、省略をさせていただいて、3ページを見ていただきますと、寄附をいただいた大型映像装置だとかタブレットの話は下にありますが、その上、ふるさと納税の現状はどうなっているのか、ふるさと納税をいただいている今年の見込みです。上の段が寄附をいただいた額で、億円単位ですので6000万円ということです。市民の皆さんが他の市町村に寄附をして流れて出ていくのが6億8000万円、6億2000円が流出超過ということです。町田市税は2007年がピークであり、10年前のほうが多いのです。そこへ6億何千万円も出ていってしまいますから、非常に厳しいことになっているということです。

できれば、税金でインターネット買い物をしないでくださいとずっと言っているのですが、この間、テレビを見ていたら、楽天ふるさと納税、手数料稼ぎで楽天を通じてふるさと納税したらいいですよとテレビでコマーシャルをしているのです。あれはどうなっているかということ、宮崎県都城市とかいろいろなところへ行ってゲットするために皆さんがお金を払うので、楽天もふるさと納税を扱いますとコマーシャルを出しているのです。楽天にアクセスすると、この町は何をくれる、何を買えるとずらっと出てくるというものです。あれはやめていただきたい。たくさんやっている人はたくさん税金のかかっている人ですから、あれをゲットした、これをゲットしたと言っている人がいたら、たくさん税金を払っている人だなと思っていただければと思います。できれば、それを聞いたら町田市に納めてくださいと小声で言っただけだと、6億円マイナスになっていますから、よろしく願いいたします。

自転車レースの話はしました。オリンピック・パラリンピックの前にラグビーワールドカップがありまして、これは来年の9月にあるのです。アフリカのナミビアという共和国がありまして、そのチームが町田でキャンプを張るということがこの夏、決まりました。ラグビーワールドカップ、来年、

もう1年ないのですけれども、アフリカの地区代表です。

オリンピック・パラリンピックは、昨日のニュースで中国が成瀬の体育館で卓球とバレーボールとバドミントン、あと図師で水泳のキャンプをします。中国は非常に卓球だとかバドミントンが強いです。今ちょっと口をかけているインドネシアも強いのです。日本も強いので3本指というか、あとはヨーロッパが1つあるのですけれども、4本の指のうちの2本、2大チームが多分町田でバドミントンのキャンプを張ることになると思います。ですから、オリンピックの競技の世界最強の2チームぐらいがここでやることになると思います。インドネシアはパラバドミントンをここでやることは決まっています。それから、インドネシアのオリンピックの空手もここでキャンプをやることが決まっています。

まだ欲張っておりまして、南アフリカの7人制ラグビーの誘致も今しています。ラグビーワールドカップの15人ではなくて、オリンピックは7人制ラグビーの誘致とか陸上の誘致は南アフリカに声をかけています。直談判に行こうと思っても、あまり遠くに行つてだめと言われても嫌だから大使館までしか行かないのですが、一生懸命交渉しています。ワールドカップから始まってオリンピック・パラリンピック、町田でたくさんのキャンプが開かれる。私どもの条件は、小中学校に行つて子どもたちと一緒にプレーをしていただくとか、体育館に招いていただくことを条件にしています。そうでないものは誘致しない。ヨーロッパのチームはそれをやらないのです。だから、どうしてもアジア、アフリカになるのは、そういう触れ合いというのですか、せっかく来るのに、ヨーロッパの人たちは非常に合理的に考えて、キャンプを張つて、競技をやったらさっさと帰つてしまうというパターンですから、そんなことには応じてくれないので、あちらにはあまり声をかけていません。

それから、清掃工場の話をしておきます。新たな熱回収施設等の施設整備工事は去年の7月から工事が始まっておりまして、現場の工事はかなり進んでいます。本事業では生ごみのバイオマス化施設を併設しますので、全体としては300億円ぐらいかかっています。生ごみを発酵させて、ガスを抜いて、ガスエンジンで電気を作るシステムですけれども、この家庭の生ごみを処理するためのバイオガス化施設が入るのは関東では町田市が初めてです。他の市は、生ごみは全部燃やしているところが多いのですが、町田市は燃やす前にガスを抜いてしまおうと計画しています。それから、ビンとかカンとかプラスチックを処理する資源ごみ処理施設については今、相原地区の大戸に建設を計画していますが、事業に必要な用地の確保に関する協議や調整に時間を要しており、まだ最終的に合意に至っていません。

それから、野津田公園の観客席の増設工事については、現在設計作業中です。来年の春にならないと設計が終わらないということで、工事契約が議案として出てくるのは多分6月議会になります。ですから、現場に入るのは8

月か9月になってしまいますので、現在、ゼルビアは3位です。来週の土曜日、ひょっとして優勝するかもしれないのですが、J1にはもう上がれないことが決まっています。上がれないことが決まっているのに、どうしてあんなに必死に頑張るのか、昨日は試合終了間際に点をとって勝ったのですが、相当粘るのです。上がれないのがわかっていて粘るといのはすごい頑張り方だと思って、今度のヴェルディ戦も、ヴェルディがプレーオフに出られるかどうかの勝負です。今度、町田とやって勝たないと、あのチームはプレーオフに出られないのです。ですから、相当必死になって、こちらは勝っても負けても上がれないのが決まっている中で勝ったりするのでびっくりするのです。来年工事が始まれば、来年年明けはもう上がれないのが決まっていますけれども、再来年のリーグはJ1に上がれるのではないかとスタジアムはできていないけれども、工事が始まればいいのではないかと今交渉している最中です。工事が契約されて、始まって、その工事が中止になることはあまりないのです。ですから、いいではないかということを書いて、ひょっとすると再来年のシーズンぐらいでJ1に行けるかもしれませんが、来年の成績次第ということ。成績が7位以下だと上がれなくなってしまうので大変だと思っていますが、できれば来年の今ごろ、秋には増設工事をしたいと思っています。

最後に、子育てと高齢者です。子育てで言いますと、先ほど待機児童が146人と言いました。237人から87人も減りましたが、ほとんど全部ゼロ、1、2歳です。来年は待機児童ゼロということになっています。紙に書かないで口だけですけれども、一応待機児童ゼロということになっています。

エアコンですが、小中学校のエアコンは、普通教室はもう2012年、震災の翌年に終わりました。特別教室で残っていたのが幾つかあったので、それは今年度の夏で終わりました。事実上、エアコンが入っていないのは、町田第六小学校の防音工事と並行でエアコンをやるところ、それ以外は全部終わりました。それから、トイレの改修も前年度に終わりました。残っているのは体育館のエアコンです。体育館のエアコンは東京都がやるという話だけはあるのだけれども、どうも具体的な中身は来ていないので、今年の12月の補正予算にはのらないで、のっても計画を来年度当初予算にのせるかと思っています。実際に東京都は何も言ってきていないので、今対応に困っていますが、体育館もおっつけやらなければいけないと思っています。避難施設、避難所になっていますので、真夏とか真冬は結構厳しいものがあります。ただ、体育館は冷房効果が小さいのです。抜けていってしまう。断熱がよくないので、本当に大丈夫かという心配もしているのですが、まさか体育館を建てかえることはありませんので、効率は悪いと思っています。

それから、高齢者の話です。特別養護老人ホームを900人分ぐらい、この8年で作りました。相原地域に一番多くつくっています。そういう意味では、

相原地域の皆さんが協力していただいて、ご支援をいただいて今これだけできているということです。具体的な成果という表現で言いますと、2009年ですから9年前にスタートしたころは、申し込みから1年以内に入る人は45%、半分もいなかったのです。去年のデータですと、申し込みから1年以内に入る人は87.6%ですから、約9割の人は申し込みから半年とか9カ月とか1年で特養には入れますという状態になりました。とりわけ相原地域の皆さんには協力をいただいてこれが実現したということで、これは普通の話ではないのです。普通の都市はそんなことはないのです。とりわけ中央線で立川から東の市は、2年、3年待つのは当たり前、もっと東に行くと、自分のところにはもう行くところはない。江戸川の人に聞いたら群馬だと言っていました。立川から東のところは2年、3年待つのは当たり前というところで、実はこうやって1年以内に約9割の人がすぐ近くに入れるというのは町田ぐらいの話。もちろん、青梅とかあきる野は違いますよ。中央沿線からたくさん受け入れていますから、それは違いますけれども、そうではない市では町田だけだと思います。それもこれも、この地域の人たちがそれに協力をしていただいたおかげだということで、改めて御礼を申し上げます。

《質疑》

大戸町会

大戸町会の〇〇です。

要望事項で、バスの西口の広場の関係です。大戸町会のほうからは西口に入るバスと橋本に直接行くバスがありまして、特に大戸の交差点よりもさらに大地沢青少年センター寄りのところはバスの本数が40分に1本、その大部分は相原に入らないで橋本に行くのです。ですから、みんないなげやのところでバスを降りて相原駅に向かわなくてはいけないということで、今年、うちの町会と城山町の町会で、神奈川県神奈中バスにお願いに行ってきたのです。何本かいいから、相原駅のほうに回って、それから橋本駅まで行く形はとれないかと話をしたら、神奈中バスでは、町田市が許可してくれないと入れませんと言われているということです。バスのプールする場所が数台しかないために、時間帯によるとバスの本数がすごくありまして、特に9時台ですと法政行きバスが10台以上、それから家政学院大行きが5台ぐらいでしょうから、1時間に15本ぐらい行っていますので、4分置きにバスが出ているという状況で、そういう中でさらにバスの本数を中に入れることは技術的にも難しいということで、市で許可をされていないのだろうと思うのです。ただ、朝の時間帯ではなくて昼間の時間帯は、それほどバスが入っているわけではないので、昼間の時間帯にバスが入れるかどうかをぜひ検討していただければということで、これは今すぐ回答でなくて結構ですので、いずれまたご相談に参りたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

町田市長

とりあえずの回答だけを会長にお渡ししますので、市営バスをやっているんで、多分要望しますと言っておしまいかもしれないのですが、多分大丈夫だと思います。

相原まちづくり協議会

先ほど市長からご説明がありました件で、申し述べさせていただきます。まちづくり協議会の宮高と申します。

1つは、このふるさと納税の9ページに相原のことが書いてあります。大変うれしく思っております、何を隠そう、私はこの近くに住んでおまして、歩いてものの1分か2分で家に着くのです。フィールドアーチェリーは、日にちはちょっと思い出せませんが、朝の7時から7時半のNHKの番組で放送されておまして、私の家の2階から外を見ましたら、大きなパラボラアンテナの車が来ておまして、何だよこれはと思っておましてテレビをつけましたら、そこで中継がされていたということです。それはともかくとして、ふるさと納税のこの本を見まして気がついたことを申し述べさせていただきますと、11ページに町田のいろいろな食べ物が出ておられます。次の次のページ、13ページには新しくできるゼルビアの陸上競技場が写っております。

何を言いたいかということ、ふるさと納税のお返しに、ぜひフィールドアーチェリーに招待するとか、あるいはまた、ゼルビアの観覧する券をくれる。これを見ましたら、5万円コースに特別シートをペアでご招待するという部分があります。それから、最後のページだったと思いますが、国際版画美術館に来年は歌麿を呼ぼう、来年3月31日のイベントにただで行けるチケットをくれると、皆さん、ただで見られるのだということで、納税する人が、あるいはお金を出す人がいっぱい出てくるのではないかと思います。

2番目は、これは極めて思いつきですがけれども、町田の薬師池公園のすぐそばにリス園がありますね。できてからもうかなり時間がたっているかと思いますが、ぜひ相原の中央公園にリス園をつくっていただいて、東と西という感じで、これはいろいろな問題がありますから、誰が面倒を見るだとか、どこの場所だということになりまして簡単にはいかないと思うのですが、大地沢だけでなくぜひ相原の特色を、中央公園に行ったらリスが見られるね、リスにさわられるね、リスだけではないですがけれども、ヤギはたしか雑草を食べてくれるということもありますけれども、それはともかくとして、ぜひリス園を考えてもらえないかなというのが市町さんへのお願いになります。

町田市長

実は、町田市は指定管理制度というのがありまして、公園の管理を指定管

理でお願いするとなっています。今、相原中央公園はレスポアールさんがやっているのですが、今議会でもう1度、次の5年もレスポアールさんをお願いするという議案を出しますけれども、まだ議案を発送していないから、外に向かって今日初めて言ったのですが、出します。

指定管理というのはいろいろなことができますので、ぜひ提案をしていただきたいと思います。私が、〇〇さんも同じようなことを言っているのですが、汽車を走らせてくれと言っているのです。中央公園の奥へ行くぐるっと円形のこの間フェスティバルで舞台をやった、日本ではあんなに長いミニSLはないので、ぜひともあれをやったらどうかというのですが、ああいうことも指定管理者の発想でできるのです。ですから、町田市がやらなくても、指定管理をやるということで、例えば建設費はともかくとして、運営費は指定管理者が持ちますという形で提案すれば、もしかしたらできるかもしれないというくらいに、指定管理というのは自由度が大きい制度です。

全然違う話ですが、ぱおは駐車場に行くところなのですが、多摩ナンバーはないのです。1度見に行って、多摩ナンバーがいたら、ぱおの車だった。それ以外は全部相模原で、1台だけ八王子でした。要するに、エリアに限らず、もう八王子、相模原、ずっとあの辺がぱおの営業圏域です。ですから、もしSLなんか走ったら大変なことになってしまうわけで、駐車場をどうするのだといきなり問題が出てしまうので、それを解決しないとかなかなかできないのですが、今のリス園も含めて、それぐらいのことはできるのではないかと考えています。

それから、ふるさと納税については、この中でなるべく座席を確保する、さっきのアーチェリーも招待するようになっていきますので、ぜひともお願いします。相原に来てこの話をしなかったのは私も大変申しわけなかったのですが、都内で唯一ここに書いてあります。都内で唯一フィールドアーチェリーを楽しめる施設ですね。都内で唯一なので、非常に貴重な場所だと思っています。

(司会) 相原地区連合町内会副会長

どうもありがとうございました。制度のいろいろなところを利用して発展できればいいなと考えております。

○閉会の挨拶(相原地区連合町内会副会長)

今日は皆さん、大変お忙しい中、市長を初め、市の幹部の皆さんとの市政懇談会にご出席いただきまして、ありがとうございました。

これを持ちまして本日の会を閉会とさせていただきます。どうもありがとうございました。

以上